

あとがき

助成金を支給した後、ともすれば希薄になりがちな研究者とのコミュニケーションであるが、本調査はその改善に役立つとともに、助成テーマの展開・発展方向を探ることによりサウンド研究の動向や研究現場の状況が浮かび上がって来た。

又、助成制度そのものに関する意見・提案も併せて調査した。それにより、研究者間における当財団助成金の位置付けが明確になり、有効活用されている様子が把握できた。

最後に、調査研究にご協力頂きました助成対象者各位に改めて厚くお礼を申し上げます。内容については、検討・考察が不十分な点多々あると思われませんが、至らぬ点のご教示・ご指導を今後とも宜しくお願い申し上げます。

- 編集・文責 (財)サウンド技術振興財団 江澤定明 -